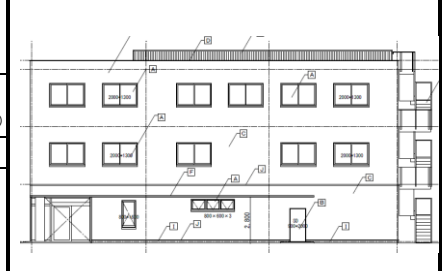


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ユニバーシティ(株)相模原工場新事務棟新設工事	階数	地上3F
建設地	相模原市南区大野台2丁目2450番1の一部	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,205時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2021年4月26日
敷地面積	528㎡	作成者	谷津建設(株)一級建築士事務所
建築面積	236㎡	確認日	2021年4月26日
延床面積	684㎡	確認者	谷津建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
相模原市の準工事地域事務所単独用途の建物を計画。	特になし。	
Q1 室内環境 使用建材はF☆☆☆☆をほぼ全面に使用する計画。	Q2 サービス性能 バリアフリーに取り組み、建物利用者への使いやすさに配慮した計画。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.70、BEI _m =0.71、LED照明設備を導入している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル可能なOAフロアの採用や、ノンフロン発泡剤を利用する計画。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率79%。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される